

わたしたちが守る

地域の安全

「地域の安全は、地域で守る」。この言葉をキーワードに、住民が主体となった交通安全や防犯の活動を行っている人たちがいます。住民同士のきずな、助け合い…。今回は、さまざまな思いを胸に活動する団体を紹介します。



みつば隊

たかはしひろあき
高橋博章隊長



とんぼ隊

まつしあつし
松井敦利隊長



鉄西地区交通
安全実践会

まえだかずひと
前田一人代表

子どもの安全のために

通学路は気をつけてね！

鉄西地区交通安全実践会、同地区交通安全母の会

元氣よく登校していく小学生たちを優しいまなざしで見守っているのが、鉄西地区交通安全実践会と同地区交通安全母の会の皆さん。交差点に立ち、誘導と安全確保を行っています。同実践会の前田一人代表は「この地区には大きな幹線道路があり、交通量も多い。児童たちが登校時に事故に遭ってしまったら大変だ、そう思ったことがきっかけでした」と話します。

登校していく児童たちとはもう顔見知り。「おはようございます！」とみんな大きな声であいさつしながら横断歩道を渡ります。一緒にいた保護者の一人も「皆さんのおかげで、安心して子どもを送り出せます」と笑顔。転んで足を擦りむいてし



「いってらっしゃい、気をつけてね」と声を掛けます

まった児童がいれば、一緒に学校まで付き添ったりもします。

「今の時代は『助け合いの気持ち』が希薄な気がします。助け合いは地域にとっても大切なこと。少しでも地域の助けになりたい、そう考えて、交差点に立つ活動を始めたんです」と前田代表。母の会の皆さんも、子どもたちの明るい未来を守ることが一番の地域貢献だと語ります。今日も交差点には、小学生たちの元気な声が響きます。



「元氣よくあいさつをしてくれるのが一番うれしい」と前田代表（右から二人目）



交通量の多い交差点も安心です

